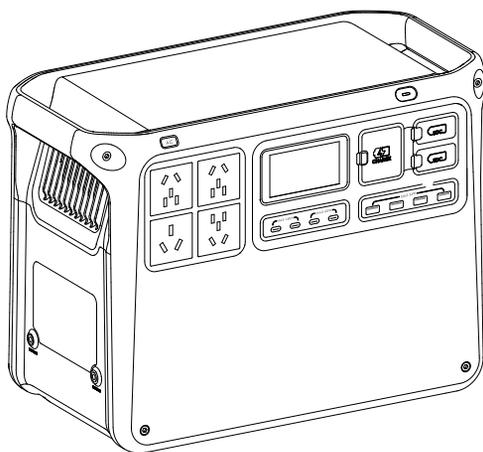


dji POWER 2000

ユーザーマニュアル

v1.0 2025.07





本書は、DJI の著作物であり、すべての権利は DJI に帰属します。DJI から別途許可されていない限り、本書の複製、譲渡、販売を行ったり、本書または本書の一部を使用、または他の人に使用を許可したりすることはできません。ユーザーは、本書とその内容を DJI 製品の操作に関する指示を参照する目的にのみ使用してください。本書を他の目的で使用しないでください。言語版によって相違がある場合には、英語版が優先されます。

🔍 キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探すことができます。Adobe Acrobat Reader を使用して本書をお読みの場合、Windows では Ctrl+F、Mac では Command+F を押して検索を開始できます。

👉 任意のトピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

🖨️ 本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

本マニュアルの使用方法

凡例

△重要

☆ヒントとコツ

📖参考

ご使用前にお読みください

DJI™は、チュートリアルビデオと次のドキュメントをご用意しています。

1. 『安全ガイドライン』
2. 『クイックスタートガイド』
3. 『ユーザーマニュアル』

すべてのチュートリアルビデオの視聴をお勧めします。初回使用前に、『安全に関するガイドライン』をお読みください。初めて使用する前に、必ず『クイックスタートガイド』を確認し、詳細について『ユーザーマニュアル』を参照してください。

チュートリアルビデオ

以下のアドレスにアクセスするか QR コードをスキャンすると、チュートリアルビデオを視聴でき、製品の安全な使用方法を知ることができます：



<https://www.dji.com/power-2000/video>

DJI Assistant 2 のダウンロード

DJI Assistant™ 2（Power シリーズ）を次の URL からダウンロードします：

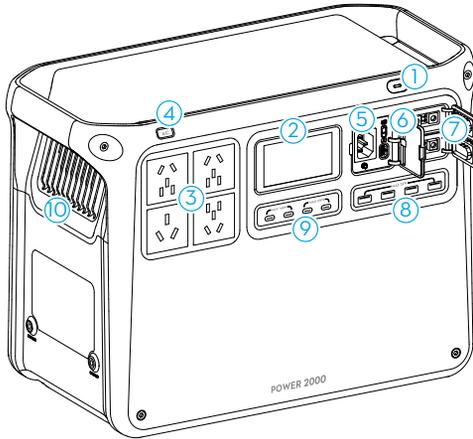
<https://www.dji.com/downloads/softwares/dji-assistant-2-power-series>

目次

本マニュアルの使用方法	3
凡例	3
ご使用前にお読みください	3
チュートリアルビデオ	3
DJI Assistant 2 のダウンロード	3
1 製品の特徴	5
1.1 DJI Power 2000	5
1.2 ディスプレイ画面	6
2 基本的な使用方法	8
2.1 電源のオン/オフ	8
2.2 DJI Home アプリに接続する	8
2.3 AC 充電	8
2.4 AC 出力	10
2.5 USB 出力	11
3 アクセサリー	12
3.1 SDC 出力	12
3.2 容量拡張	13
3.3 カーシナリオ	13
3.4 ソーラーパワーシナリオ	14
3.5 ソーラーパワー + RV シナリオ	15
4 無停電電源装置 (UPS)	16
5 付録	17
5.1 仕様	17
5.2 互換性	17
5.3 ファームウェアの更新	17
DJI Home アプリを使用する	17
DJI Assistant 2 (Power シリーズ) の使用	17
5.4 ログのエクスポート	18
5.5 メンテナンス	19
5.6 バッテリーの廃棄	19

1 製品の特徴

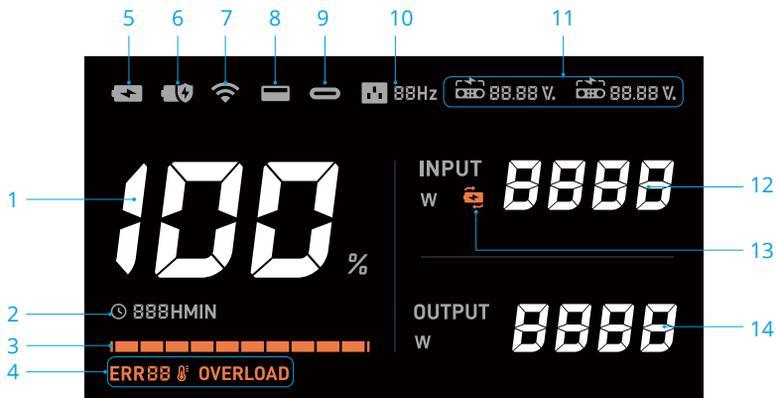
1.1 DJI Power 2000



1. 電源ボタン
2. ディスプレイ画面
3. AC 出力ポート ^[1]
4. AC 出力ボタン
5. AC 入力ポート
6. 充電モードスイッチ
7. SDC ポート
8. USB-A ポート
9. USB-C ポート
10. 通気口

[1] ユーザーマニュアル内のイラストは、国や地域により、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品を参照してください。

1.2 ディスプレイ画面



1. バッテリー残量

2. 時間

電源ステーションが外部デバイスを充電中に残りの使用可能時間を表示します。

電源ステーションの充電中に現在のバッテリー残量から電源ステーションを完全充電するために必要となる残りの時間を表示します。

機器が出力と入力を同時に行う場合、画面には、出力電力が大きいときは必要な充電時間が表示され、入力電力が大きいときは残りの使用時間が表示されます。

3. バッテリー残量バー

電源ステーションの充電時にはバッテリー残量バーが順番に点滅します。

電源ステーションの外部デバイス充電時には、バッテリー残量バーの最後のグリッドが点滅します。

4. システム警告

ERR88: エラーコード

🔥: 温度エラー。極端な高温や低温の場合、アイコンが点灯します。温度が正常に戻るのを待ってください。

OVERLOAD: 過負荷警告

🔔: 警告の詳細とトラブルシューティングについては、DJI Home アプリの警告プロンプトを確認するか、<https://s.dji.com/DJI-Power> をご覧ください。問題が解決しない場合は、公式サポートにお問い合わせください。

5. 急速充電モード

6. 標準充電モード

7. Wi-Fi 接続ステータス

アイコンが点灯している場合は、Wi-Fi 接続に成功していることを示します。

アイコンが点滅している場合は、Wi-Fi が接続されていないか、利用できないことを示します。

8. USB-A ポート

9. USB-C ポート

10. AC 出力周波数

電源ステーションの AC 周波数が電力網の周波数と異なる場合（例えば、異なる地域で機器を使用する場合）、充電のみがサポートされ、電源ステーションは外部機器を充電できません。この場合、画面にエラーコード（ERR13 または ERR14）が表示されます。AC ボタンを 10 秒以上長押しすると、周波数が切り替わり、通常使用を再開します。

11. SDC ポート

: 電源ステーションの再充電または外部機器の充電。

88.88 V: SDC ポートを使用時の電圧値。

88.88 %: バッテリーを充電する際の機体バッテリーのバッテリー残量。

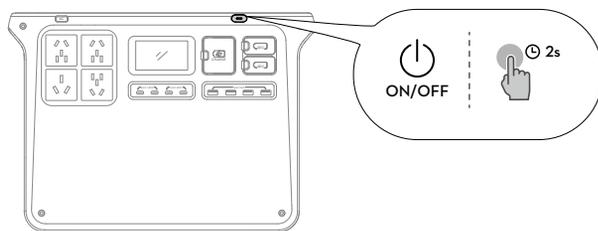
12. 入力電力

13. 無停電電源装置 (UPS)

14. 出力電力

2 基本的な使用方法

2.1 電源のオン/オフ



電源のオン/オフ：電源ボタンを 2 秒間以上長押しします。

ディスプレイ画面のオン/オフ：パワーステーションの電源が入っているときに、電源ボタンを 1 回押します。

2.2 DJI Home アプリに接続する

1. QR コードをスキャンして DJI Home アプリをダウンロードしてください。



2. スマートフォンで Bluetooth と Wi-Fi を有効にして、DJI Home アプリを実行し、指示に従い機器を接続してください。

- アプリがサポートする Android と iOS のオペレーティングシステムのバージョンを確認するには、<https://www.dji.com/downloads/djiapp/dji-home> をご覧ください。
- アプリのインターフェースおよび機能は、ソフトウェアのバージョンが更新されると変わる場合があります。実際のユーザー体験は、使用するソフトウェアのバージョンによって異なります。

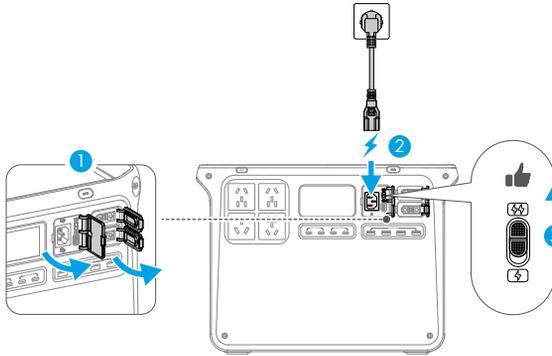
2.3 AC 充電

1. ポートカバーを開き、AC 入力ポートを電源コンセントに接続してください。

2. 充電モードスイッチを切り替えて充電モードを選択してください。

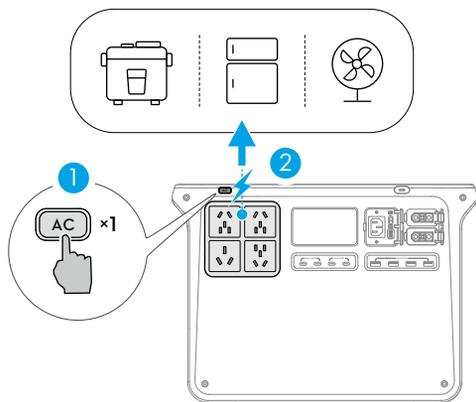
 **急速充電モード**：充電電力が大きく、日常の充電に適しています。

 **標準充電モード**：充電電力が小さく、動作音も低くなるため、夜間の充電に適しています。



-  ・ 充電には元の AC 電源ケーブルを使用し、ケーブルを曲げたり押しったりしないでください。充電中は換気を良くしてください。同梱される AC 電源ケーブルを他の機器に転用して使用することはできません。機器を高温下または閉ざされた空間に置かないでください。
- ・ 充電が完了したら AC 電源コンセントから電源プラグを抜きます。
 - ・ バッテリーセルの寿命を延ばすには標準充電モードの使用をお勧めします。
 - ・ 電源ステーションが 5 回連続のサイクルで高速充電モードでの充電を行ったら、バッテリーメンテナンスのため電源ステーションは 6 回目の高速充電の後に自動的に標準充電モードに切り替わります。
 - ・ 急速充電モードで温度の異常が発生した場合、ディスプレイ画面の温度エラーアイコン  がゆっくりと点滅します。バッテリーセルの寿命と安全性を確保するために、実際の充電電力が低下することがあります。

2.4 AC 出力



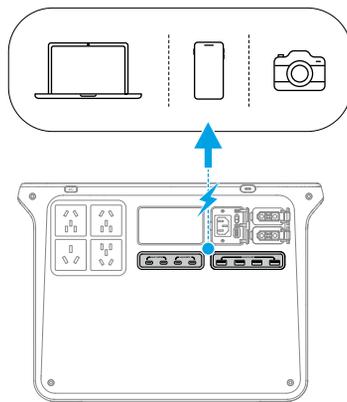
外部機器を AC 出力ポートに接続し、AC ボタンを押して AC 電源を供給します。電源ステーションがビープ音を 1 回鳴らし、AC ボタンがゆっくりと点滅します。

電源ステーションが 30 分以上 AC 機器に電力を供給していない場合、AC 出力は自動的にシャットダウンします。AC 出力が無効になっている場合、電源ステーションは 60 分以上出力または入力がない状態であれば、自動的にシャットダウンします。AC タイムアウトと機器タイムアウトは DJI Home アプリで変更可能です。

冷蔵庫のように断続的に動作する機器に電源ステーションを接続する際は、AC ボタンを長押しして、連続的な AC 電源供給を行います。電源ステーションはビープ音を 1 回鳴らし、AC ボタンが点灯します。

- 💡 内部にある電気部品は、防水コーティングされています。大容量の電力を使用する時、かすかに匂いが発生する場合があります。その匂いは、日常での使用で自然と消失します。

2.5 USB 出力



電源供給するには、外部デバイスを USB-A または USB-C ポートに接続します。

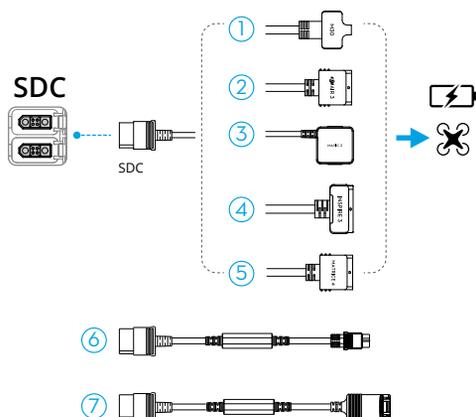
3 アクセサリー

💡 チュートリアルビデオを視聴するか、アクセサリマニュアルを読んで、製品の使い方を学んでください。

⚠️ 特に指定がない限り、アクセサリは別途ご購入いただく必要があります。

3.1 SDC 出力

パワーステーションは、SDC ポート経由で SDC ケーブルを使用して別のデバイスにも充電することができます。



- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. SDC - Matrice 30 シリーズ 急速充電ケーブル | 5. SDC - Matrice 4 シリーズ 急速充電ケーブル |
| 2. SDC - Air 3 シリーズ 急速充電ケーブル | 6. SDC - XT60 電源ケーブル (12 V) * |
| 3. SDC - Mavic 3 シリーズ 急速充電ケーブル | 7. SDC - 車用デバイス充電プラグ 電源ケーブル (12 V) * |
| 4. SDC - Inspire 3 急速充電ケーブル | |

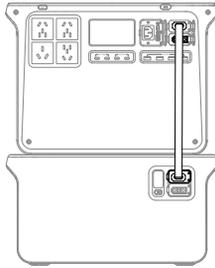
* デフォルト出力電圧：13.6 V 最大出力電流：10 A

- ⚠️
- 外部デバイスが、ケーブルの出力仕様範囲内であることを必ず確認してください。
 - SDC - XT60 電源ケーブルを使用して XT60 ポートにリチウムバッテリーを直接接続しないでください。パワーステーションは、必ず最初にバランス充電器と接続してください。

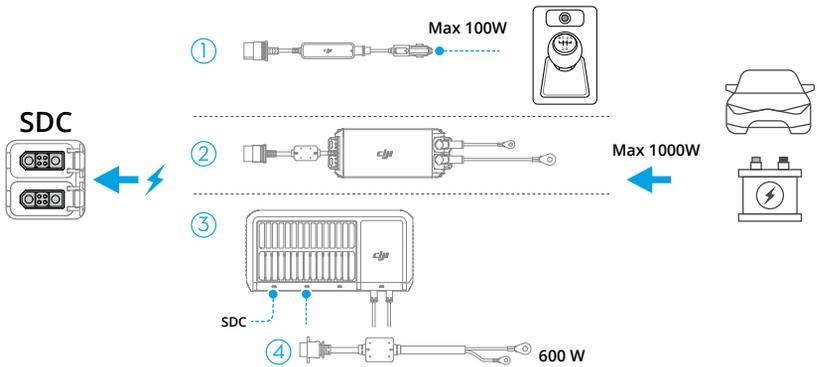
3.2 容量拡張

DJI Power Expansion Battery 2000 は、電源ステーションに接続してバッテリー容量を拡張することができます。

💡 拡張バッテリーを充電するには、電源ステーションに接続し、電源ステーションを充電します。



3.3 カーシナリオ

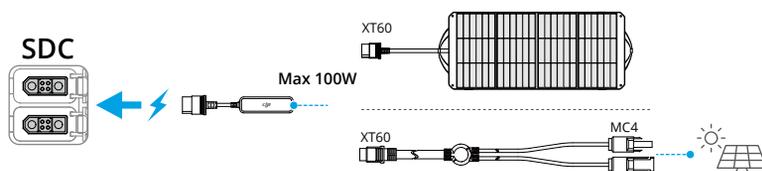


1. 車内電源ソケット - SDC 電源アダプター
2. 1kW 超急速車内充電器
3. 1.8kW ソーラー／車内急速充電器
4. 1.8kW 超急速充電器 45A 車内充電ケーブル

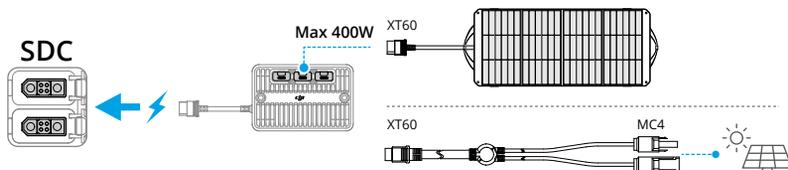
- ⚠️ 接続された車内電源が、アクセサリーの仕様範囲内に収まっていることを確認してください。範囲外の場合、性能の異常や、さらには電源ステーションに損傷を与える原因になることがあります。
- 電源アダプターが自動車の電源ポートにしっかりと接続され、自動車のエンジンが充電前に始動したことを確認します。

3.4 ソーラーパワーシナリオ

車内電源ソケット - SDC 電源アダプター

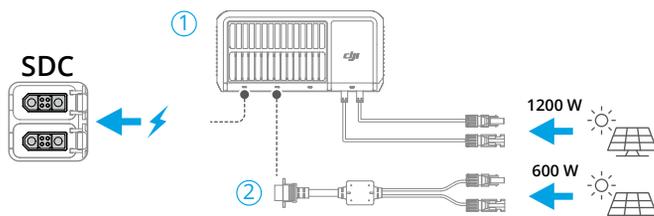


ソーラーパネル アダプターモジュール (MPPT)



- ☀️ MC4 ポートを備えたソーラーパネルに接続する際は、MC4 - XT60 ケーブルを使用してください。

1.8kW ソーラー／車内急速充電器

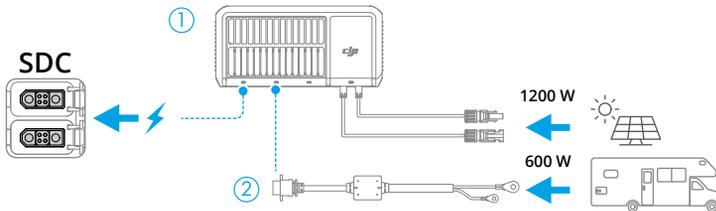


1. 1.8kW ソーラー／車内急速充電器

2. 1.8kW 超急速充電器 XT90 - MC4 アダプターケーブル

- ⚠️ • 公式に認定されたソーラーパネルの使用をお勧めします。異なる種類のソーラーパネルを混ぜて使用しないでください。接続されたソーラーパネルが、アダプターの入力仕様範囲内に収まっていることを確認してください。範囲外の場合、機器が破損する恐れがあります。
- アダプターモジュールには最大 3 枚のソーラーパネルを接続でき、並列で使用できます（直列では使用できません）。
- 車内電源ソケット - SDC 電源ケーブルを使用する場合、ソーラーパネルを 1 つ接続して、太陽光発電で充電できます。

3.5 ソーラーパワー + RV シナリオ



1. 1.8 kW ソーラー / 車内急速充電器
2. 1.8kW 超急速充電器 45A 車内充電ケーブル

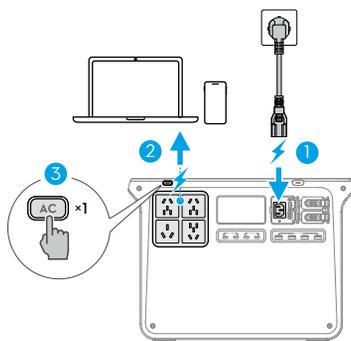
☀️ 複数の充電方法を同時に使用する場合、デフォルトで太陽光発電による充電が優先されます。充電シーケンスは DJI Home アプリで調整できます：右上の ☰ をタップし、**エネルギー管理**をタップしてから、**カスタムバックアップリザーブレベル**を有効にし、**バックアップリザーブレベル**を変更します。バッテリー残量がバックアップリザーブレベルを下回ると、複数の充電方法を同時に使用できます。現在のバッテリー残量がバックアップリザーブレベルを上回ると、太陽光発電による充電のみが利用できます。

4 無停電電源装置 (UPS)

電源ステーションを AC 電源コンセントに接続し、パソコンなどの外部デバイスを電源ステーションに接続します。AC ボタンを 1 回押して、ディスプレイ画面に  が表示されると、UPS が有効になります。

電力網が正常な場合、AC 電源コンセントは電源ステーションと接続された機器の両方に電力を供給します。

突然の停電の場合には、電源ステーションは自動的に電源供給状態に切り替わり、接続された機器が通常動作を維持できるようにします。



-
-  • 電源ステーションは基本的な UPS 機能のみをサポートし、0 ms 切り替えのサポートはしません。電源ステーションを、0ms UPS を必要とする機器（医療機器など）に接続しないでください。デバイスの故障やデータ喪失の原因になる場合があります。
- この機能は、一部の地域で使用できません。詳細については、現地の法規制を確認してください。
 - 一部の国や地域では、法律および規制に基づく制限のため、UPS モードでの電源ステーションの実際の出力電力が低下する場合があります。
-

5 付録

5.1 仕様

仕様については、以下のウェブサイトをご参照してください。

<https://www.dji.com/power-2000/specs>

5.2 互換性

互換性のある製品については、次のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.dji.com/power-2000/faq>

5.3 ファームウェアの更新

DJI Home アプリを使用する

機器が DJI Home アプリに接続されている場合、新しいファームウェアが利用可能になると、アプリにプロンプトが表示されます。アプリの指示に従ってファームウェアを更新してください。ファームウェア更新には、インターネット接続が必要となります。

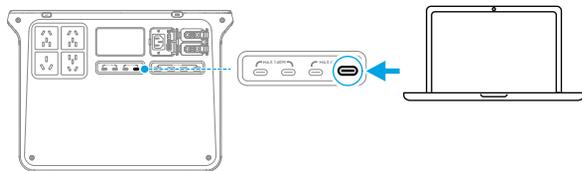
DJI Home アプリでもファームウェアを更新できます：右上の ⓘ をタップし、**ファームウェア更新 > 更新**をタップします。

-
- ⚠️ • 更新する前に、機器のバッテリー残量が十分であり、ネットワーク接続が安定していることを確認してください。
 - 拡張バッテリーや超急速充電器などのアクセサリを電源ステーションに接続して、ファームウェアと一緒に更新してください。
-

DJI Assistant 2 (Power シリーズ) の使用

ファームウェア更新の前に、パソコンがインターネットに接続されていることを必ず確認してください。以下の手順に従って、必ずファームウェア更新を実行してください。

1. 機器の電源をオフにし、AC ボタンと電源ボタンを同時に長押しして、ディスプレイ画面に USB-C アイコンが点滅し始めるまで待ちます。
2. 下図で示すように、パソコンを指定の USB-C ポートに接続します。

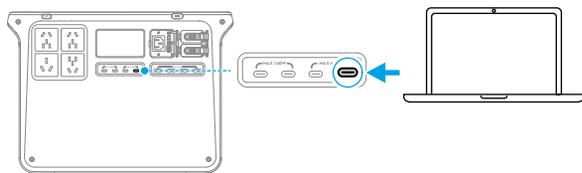


3. DJI Assistant 2 を起動し、製品を選択して、左側にあるファームウェア更新ボタンをクリックします。
4. ファームウェアを選択し、DJI Assistant 2 のプロンプトを注意深く読み、[更新]をクリックします。ファームウェアがダウンロードされ、自動的にデバイスにアップロードされます。
5. ファームウェアが自動的に更新され、ディスプレイ画面に更新の進捗が表示されます。処理が完了するまで待ちます。ファームウェア更新が完了すると、デバイスが自動的に再起動します。

- ⚠
- ファームウェア更新中は、デバイスの電源を切ったり、デバイスをパソコンから取り外したりしないでください。
 - ファームウェア更新に失敗すると、ディスプレイ画面に[UPGD FAIL]と表示されます。その場合、デバイスをパソコンと AC 電源コンセントから取り外し、電源ボタンを 5 秒間長押ししてデバイスの電源を切り、再試行してください。

5.4 ログのエクスポート

1. 機器の電源をオフにし、AC ボタンと電源ボタンを同時に長押しして、ディスプレイ画面に USB-C アイコンが点滅し始めるまで待ちます。
2. パソコンを下図で示された指定 USB-C ポートに接続します。



3. DJI Assistant 2 を実行し、左側の**ログエクスポート**をクリックし、ログリストからログを選択して保存します。エクスポートが完了するまで待ちます。
4. ログエクスポートが完了したら、電源ステーションを再起動して、通常の使用を再開します。

5.5 メンテナンス

1. パワーステーションを長期間保管する必要がある場合は、パワーステーションのバッテリー残量を 60%まで放電することをお勧めします。低い電力レベルで保管すると、過放電状態になる恐れがあります。
2. 本パワーステーションは、直射日光の当たらない涼しい乾燥した環境で、規定の保管環境温度で保管する必要があります。パワーステーションを水中や水漏れの可能性がある場所に置かないでください。
3. 完全に放電した後で、パワーステーションを長期間保管しないでください。バッテリーが過放電し、バッテリーセルが修理不能な損傷を負うおそれがあります。
4. バッテリーの性能を確保するために、パワーステーションを 6 ヶ月に 1 回充電および放電します。パワーステーションをバッテリー残量が 15%以下まで放電し、2 時間以上電源を切ってから、標準充電モードで 100%まで充電してください。
5. ポートの汚れが目立つ場合は、きれいな乾いた布で拭いてください。アルコールやその他の可燃性溶剤で、パワーステーションを清掃しないでください。

5.6 バッテリーの廃棄

1. パワーステーションには有害な化学物質が含まれているため、バッテリーの廃棄とリサイクルに関する現地の規制を厳守してください。通常の廃棄コンテナにパワーステーションを入れて、廃棄しないでください。
2. パワーステーションは、完全に放電した後で適切にリサイクル用のごみ区分として廃棄する必要があります。DJI は廃棄時の回収も行っておりますのでご不明点は DJI アフターサービスにお問い合わせください。
3. 過放電したり、膨張したり、衝撃を受けたり、液体と接触したり、損傷や液漏れのあるパワーステーションは、適切に廃棄する必要があります。損傷や怪我を避けるために、このような状態でパワーステーションを使用しないでください。必要な場合は、メーカーに連絡してください。



連絡先

DJI サポート

本内容は予告なく変更される場合があります。
最新版は下記よりダウンロードしてください



<https://www.dji.com/power-2000/downloads>

本書についてご質問がある場合は、DJI（DocSupport@dji.com 宛にメッセージを送信）までお問い合わせください。

DJI は、DJI の商標です。

Copyright © 2025 DJI All Rights Reserved.